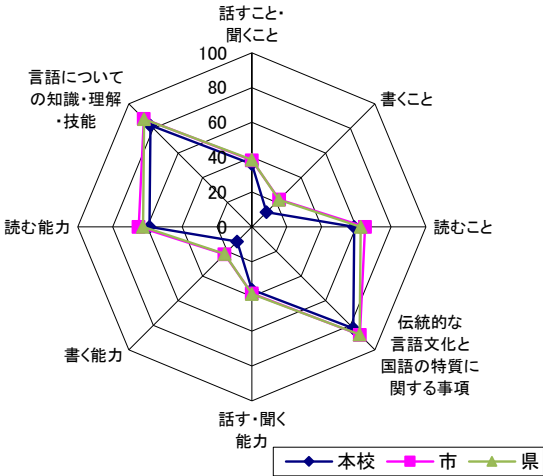


宇都宮市立平石北小学校 第5学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	36.1	38.3	38.5
	書くこと	12.0	22.3	21.9
	読むこと	58.8	65.0	62.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	82.5	87.8	87.5
観点	話す・聞く能力	36.1	38.3	38.5
	書く能力	12.0	22.3	21.9
	読む能力	58.8	65.0	62.5
	言語についての知識・理解・技能	82.5	87.8	87.5



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	●宇都宮市の平均をやや下回っている。 ●提案者の役割を理解し、話し合いに参加する問題については、正答率が33.3%で市の平均より6ポイント低くなっている。 ○進行に沿った話し合いの問題については、市の平均を2.1ポイント上回っている。ただし、無答率が8.3%と高くなっている。	・話すとき、聞くときのポイントを確認し、朝の1分間スピーチを継続して実施していく。 ・児童自ら意欲的に取り組めるテーマを設定し、役割を意識できるような話し合い活動を効果的に取り入れていく。
書くこと	●宇都宮市の平均を下回っている。 ●資料と会話をもとに、リーフレットに付け足す文を記述する問題については、市の平均を13.8ポイント低くなっている。さらに、無答率が38.9%と高くなっている。	・学校生活の様々な場面での振り返りを短い文に書く機会を設定するなどして、文章を書くことに慣れるようにしていく。 ・各教科において、自らの思いを自らの言葉で書く機会を設けることで、言語活動の充実を図っていく。
読むこと	●宇都宮市の平均を下回っている。 ●中心となる語を捉えて読む問題については、63.9%で市の平均を10.1ポイント下回っている。 ●目的に応じて文章を要約する問題については、無回答率が25%と高くなっている。	・物語文の学習では、場面ごとにどのような内容が書かれているかを要約する機会を設けたり、どこが山場になっているかを確認したりしながら、話の内容が読み取れようにする。 ・説明文の学習では、どのような文章構成になっているのか、筆者の最も言いたいことは何かに注目させ、全体として話の趣旨が読み取れるよう指導していく。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	●宇都宮市の平均を下回っている。 ●漢字の書き、読み共に市の平均を下回っている。 ●修飾と被修飾との関係についての問題では、市の平均より13.1ポイント低くなっている。	・宮っ子ステップアップシート、漢字ドリル等を継続して活用し、学習内容の定着を図っていく。 ・家庭学習において、漢字やことわざ、修飾と被修飾の関係、慣用句のプリントを活用し、言葉の力の向上を図る。